

	平成23年度 第5回 NPO法人介護支援専門員協会鹿児島 理事会
日時	平成24年2月6日(月) 17:30~
場所	介護相談センター 真砂本町
出席者	<p>会長：大勝洋祐 副会長：宇治野由美子、木場秀逸 常務理事：阿久根平 理事：佐藤三奈、新地一浩、吉永とも子、高野大輔（大川内一浩代理） 監事：福永良弘</p>
欠席者	理事：小湊珠子、原田卓也
内容	<p>1. 会長挨拶 (大勝洋祐 会長) 先日、九州・沖縄ブロック介護支援専門員研究大会（1月26日～1月28日）があり、私と宇治野副会長が参加させていただきました。予想以上に大勢の人が集まり盛大に開催されました。白澤教授の講演がとても素晴らしいお話で厚生労働省の改正案にひそむ欠陥や不足について指摘されながら、介護保険制度のあり様を解説されました。厚生労働省は今後少しずつ財政難に対処しながら超高齢社会の介護に厳しい対処を迫られることになるのでその圧力は私たちもそれなりの決意をもって頑張っただけでゆかないと思いません。会員の皆様も介護保険の実地において期待される中心的な役割を果たして下さい。</p> <p>2. 報告事項</p> <p>1) 「鹿児島市高齢者虐待防止ネットワーク協議会」実務者会議（1/20）について (新地一浩 理事)</p> <p>・協議題 (1) 個別ケースに関する情報共有・意見交換 鹿児島市高齢者福祉課から事例提供</p> <p>地域とのかかわりが乏しく、孤立している高齢者について 同居者がいても周辺の地域住民やケアマネ等と関わろうとしない方が拒み、そのため支援が必要なのかなどについての情報も取れない、安否確認がとれないなど、問題点3つを協議した。</p> <p>①仮に虐待があったとしてもその確認が困難な状況で安易に強制的な介入は妥当でない、法的にも家宅侵入できる強制力を持つ判断は困難という見解で、警察介入も難しい。 近隣の不安感もあるが、家族間の関係性も見極めてプラス要因を見落とさないようにするべきではないか。大声をあげて、高齢者に威圧的対応をしているが、必ずしも排除しようとはせず、外部の援助は拒絶し、現実の高齢者への対応は虐待している例がある。その背景には介護方法の無知や経済的に困っている等の課題を抱えていると思われる。その解決とは信頼関係構築と虐待問題に偏らない視点が重要ではないか。安否確認が当面の目的であれば地域包括支援センターの月2回の訪問だけでは難しいのではないかと。保健センター等の他機関との連携体制を構築したらどうか。</p> <p>②③通報したことで通報者に危害や不利益が及ばないか。 原則、通報者の情報を明かして関わることは行政も警察もしない。が、ケースによって異なる。訪問等を行う際に、その理由・根拠として「近隣</p>

者からの通報があったので・・・。」と説明が必要な場合がある。
 ケースごとに慎重に方針を決めることが大切で一律化するべきことではない。民生委員から・・・等、特定されるリスクはあるかもしれないが役割としては避けられないのではないか。ニーズの多様化といった現状もあり、最近では民生委員を辞める人が多く、なり手が少ない課題がある。民生委員をはじめ、地域へ対して高齢者虐待防止についての理解を促すことも大切。

リーフレットを作成中で、市民向けに周知予定。

2) 平成 23 年度第 6 回鹿児島市高齢者保健福祉計画及び介護保険事業計画策定・管理委員会(2/3)について

(新地一浩 理事)

・議事

議事①

第 5 期鹿児島市高齢者保健福祉・介護保険事業計画案がまとまりました。人口等の現状と将来推計や要支援・要介護者の増加傾向にあること、高齢者世帯や一人暮らし世帯割合が全国平均より高く介護力は低い状況である。日常生活圏域については見直す 15→17 圏域（谷山・伊敷を再編成、目途は立っていない）介護サービス見込み量等の計画案がまとまった。要介護者・要支援者以外へのアプローチや一人暮らし高齢者への見守り体制など行政及び地域包括支援センターの機能強化へ対する要望の声が挙がった。計画案内容については添付資料を参照

議事②

計画の進行管理について

次年度は計画の進捗状況について委員会を 2 回程度開催予定

3) 「鹿児島市高齢者虐待防止ネットワーク協議会」代表者会議(1/30)について
 (木場秀逸 理事)

会次第

- 1、開会（司会 鹿児島市 高齢者福祉課長）
- 2、会長挨拶（鹿児島市福祉事務所長）
- 3、DVD 視聴（高齢者虐待～尊厳を奪わないために～）
- 4、協議題
 - ①平成 22 年度 虐待対応件数報告
 - ②平成 23 年度 第 1 回・第 2 回実務者会議について（報告）
- 5、その他
- 6、閉会

3 について、一般市民対象向け DVD であった今後普及啓発を行う際に活用してみてはと考える。

4（1）について、実務者会議報告資料及び説明内容も同様であった。
 当協会より質疑→これだけ多くの他団体が参加している実態も踏まえ、より詳細なデータ提出を要請。警察・弁護士への介入件数、通報先の内訳など。
 回答→県へ提出しているデータはもう少し細かい集計となっている。次回会議開催の時までに集計の工夫をします。

4（2）について、資料参照のこと実務者会議での提案事項として市民向けリーフレットの作成要請についてはたたき台の提出あり。利用に関する承諾受け今後作成活用される予定。

当協会より質疑→第 1 回実務者会議にて、措置入所並びに施設入所による一

時分離を行う際、施設までの搬送の役割を担当の介護支援専門員が担うことが少なくない。本来業務ではないと考えるが、地域包括支援センターによる支援や代替サービスの開発についてはどうか。の質疑が課題となっていたがその後の経過は如何に？

回答→①地域包括支援センターによる支援は本来業務ではないため難しい。
②受け入れ施設側による送迎についても老協協会長に確認の上、困難とのこと。
③原則としては公共交通機関利用となる。
④搬送にかかる費用については、保証できない。
⑤ただし、これまでの例として措置入所となった際は市役所公用車で搬送若しくはタクシーチケットの利用が前例としてあるとのこと

5について、鹿児島県精神保健福祉士協会代表者より精神疾患のある虐待事例の場合対応困難事例が多い旨話があり、障害者支援センターの活用依頼あり。また、市社会福祉協議会代表者より病院受診を拒むケース等は生活保護受給者の場合、検診命令を行うことが出来るはずなので活用検討することも一つの方法ではとのこと。

鹿児島市老人福祉施設協議会代表者より、現場においては施設職員による虐待は大きく取り上げられることとなるが、職員が利用者から虐待を受けている事例が大変多い事にもご理解をいただきたいとのこと。

3. 協議事項

1) 第3回居宅委員会研修会 (2/10) について

(小湊珠子 理事)

日 時：平成24年2月10日(金) 14:00～17:00
場 所：かごしま県民交流センター 4階 大研修室4
研修内容：「ケアプラン作成に関する研修会 ～書き方研修会～」
講 師：宇治野理事

マネージャーの自立支援のケアプランや困難事例の解決法のみえるプランづくりができる。

2) 第3回施設委員会研修会に (1/14) について

(吉永ともこ 理事)

日 時：平成24年2月29日(水) 14:00～17:00
場 所：ハートピアかごしま 多目的ホール
研修内容：「介護保険制度改正のポイント」
～施設の改正のポイントと対策～
講 師：日本介護支援専門員協会 副会長 助川 未枝保氏

3) 第3回主任ケアマネ研修会 (3/3) について

(阿久根平 理事)

日 時：平成24年3月3日(土) 14:00～17:00
場 所：かごしま県民交流センター 4階 大研修室4

研修内容：包括支援センターの取り組み（仮）

講師：阿久根理事

4) 【介護保険制度改正 特別講演会 in かがしま 2012】(3/15)後援依頼について
カクイックスより、講演会の後援依頼あり。後援、チラシの郵便物への同封等、協力することに決定。

5) 鹿児島圏域地域リハビリテーション広域支援センターより、講演会(3/10)の後援依頼について
鹿児島圏域地域リハビリテーション広域支援センターより講演会の後援依頼あり。後援、チラシの郵便物への同封等、協力することに決定。

4. その他

1) 会員数・会費納入状況について

(佐藤三奈 理事)

会員数 457名、新入会員 70名

2) 次回理事会日程(4/23 17:30 予定)

3) 総会について

日時：平成24年5月26日(土) 14:00~17:30

場所：鹿児島市民文化ホール

研修内容：未定

講師：未定

精神疾患、精神疾患の患者様へのアプローチ、社会資源の紹介などについての講演内容を依頼予定。

以上をもって、協議が終了したので午後7時10分、閉会した。

以上、この議事録が正確であることを証する。

平成 24年 4 月 21 日

議長理事

大膳洋祐



理

事

木場秀逸



理

事

吉永ともし子

